



《将来に向けた取組方針》

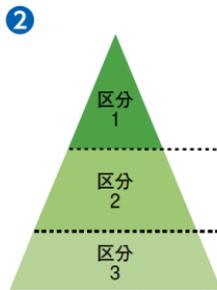
●【パナソニックグリーンインパクト】グリーンインパクトプラン2024 (GIP2024)

「ネイチャーポジティブをめざして、事業活動が生態系に与える影響を低減・回復」を生物多様性の目標とし、事業との一体化で推進する①事業場緑地 ②持続可能な原材料調達 ③生物多様性に貢献する商品・サービスの3点と④社会貢献活動の両輪で取り組む

	具体的取組み事例	学んだこと・成果
①事業場緑地	地域・行政と連携した事業場緑地管理と環境教育 (2010年～)	事業場緑地による地域・行政との連携による生物多様性保全
②調 達	木材グリーン調達の取組 (2010年～)	原材料調達リスク管理・2014年より非合法木材調達ゼロを達成
③商品・サービス	アブラヤシ廃材を活用した再生ボード化技術 (PALM LOOP*1) で国内市場検証スタート (2022年～)	期待される効果： 1. 温室効果ガス発生削減貢献 2. 再生ボード化技術 (再生資源) 3. 新たな森林伐採の防止に貢献
④他	MSC*2及びASC認証*3取得のサステナブル・シーフードを社員食堂に導入 (2018年～)	SDGs14と社員の生物多様性主流化の促進に貢献。2021年度までで54拠点に導入、他社へも拡大中。

*1 PALM LOOPはパナソニックホールディングス(株)の商標登録です。

*2 MSC認証：海洋管理協議会による持続可能な漁業による水産物の認定。 *3 ASC認証：水産養殖管理協会による持続可能な養殖による水産物の認定。



① 優先調達に努める木材・木質材料

- ・環境面で保護価値の高い森林を破壊していないことを第三者から認証されたもの
- ・持続可能な森林経営を実施していることを第三者から証明されたもの
- ・木質系再生資源

② 調達適合とする木材・木質材料

- ・伐採時の合法性が確認されたもの
- ・業界団体等により合法性認定が得られたもの

③ 調達排除に努める木材・木質材料

- ・伐採時の合法性が確認できないもの



〈今後の課題〉

持続可能な原材料調達
(木材・紙のFSC認証の推進)